



優秀賞 (全国優秀賞)

ごはんだいすき

鹿角市立草木小学校 一年 佐藤 優衣

「いただきますあす。」

わたしのいえでは、まいあさごはんをたべます。わたしは、ごはんがだいすきです。ほっかほかのごはんをあさたべると、一にちげんきにがんばれるようなきもちになります。

わたしはがっこうで、五がつにたうえをしました。はだしになって、たんぼにはいりました。たんぼのなかは、あたたかくてきもちよかったです。なえをうえるのは、むずかしかったです。やっているうちに、だんだんうまくできるようになりました。すぼすぼとうえていくのが、たのしかったです。

わたしは、いえにかえてから、おばあちゃんにむかしのこめづくりのことをききました。おばあちゃんのことものときは、わたしたちがやったように、てでうえていたそうです。みんなで、なんにちもかかってやったとおしえて

くれました。たうえのまえには、うまにどうぐをひかせて、たんぼのつちとみずをまぜていたそうです。どこのいえにもうまがいたときいて、びっくりしました。いえのこやにある、むかしのどうぐもみせてもらいました。おめんのようなものもありました。くさどりのとき、いねのはっぱで、かおにきずがつかないように、かぶったそうです。わたしもつけてみたら、まえがよくみえませんでした。むかしは、きかいがなかったので、ぜんぶでやっていた、たいへんだったんだなあとおもいました。でも、おばあちゃんは、あまりたいへんだとは、おもわなかったといっていました。たくさんはたらかなければ、おいしいおこめはできないとおもっていたそうです。おばあちゃんは、えらいなあ。

おばあちゃんのおこめづくりのはなしをきいて、わたしは、ますますごはんがすきになりました。むかしから、たいせつにつくられたおこめ。これからも、まいにちたくさんたべておおきくなりたいたいです。